医療機器安全管理研究会 セミナー
参加申込方法

(1) FAXの場合
　下記にご記入いただき、送信して
　ください。
　　FAX番号　06-6150-1337
(2) 大学ホームページからの場合
　滋慶医療科学大学院大学
　　URL　https://www.ghsj.ac.jp/

申込締切は、**2019年7月19日（金）**です。
受付後、参加費の振込口座をお知らせ
いたします

お問合せは、TEL 06-6150-1336
またはメール info@ghsj.ac.jp まで

●地下鉄御堂筋線 新大阪駅②番出口徒歩1分
●JR新大阪駅 3F改札口から北口を出て徒歩1分
●→ 徒歩順路
（JRの東改札を出て右方向へまっすぐ。北口を出て新大阪阪急ビル1Fへ下りる。）

医療機器安全管理研究会 セミナー FAX申込書
FAX: 06-6150-1337

貴施設・会社名

参加者ご氏名　①　　②

　　③　　④

ご連絡先　電話　　FAX
　　ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ

連絡事項

医療機器安全管理研究会とは

近年、医療情報や医療機器の電子化が普及し、今後はAI搭載型医療機器などによる診療、検査、治療、情報管理や患者への直接的な介入が予測されています。手術支援ロボットに代表される医療機器では、数年内に最新の3D画像システムと高精度センサーを用いた完全自立型ロボット手術システムが市場導入され、医療現場での「シンギュラリティ」が現実のものとなりつつあります。

医療機器は多様な素材で構成され、かつ構造が複雑で、維持管理や再処理においても専門性が求められますが、AIやロボット導入に伴う「安全」に対する信頼性、妥当性、責任の明確化および医療費全般に関わる経済性に対する議論は、まだ十分とはいえません。

一方、医療費抑制の観点から、SUD（単回使用医療機器）の「再製造」に対する新しい制度導入が2017年7月に厚生労働省より示されました。しかし、その導入についての信頼性・妥当性に関する具体的な手法は不明確であり、法的制度設計も不十分な状況です。

このような医療機器全般に関わる安全性、有効性、信頼性、妥当性そして経済性について、実践的な安全管理の推奨方法を提言する組織として、このたび医療機器安全管理研究会を発足いたしました。